

平成22年10月

厳原港港湾計画変更に伴う船舶航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、厳原港港湾計画変更に伴う船舶航行の安全性について調査・検討し、必要な安全対策をとりまとめた。

主な調査・検討内容としては、現フェリーバースの老朽化に伴い、現在就航しているフェリーの他、2万総トン級客船も利用可能な代替バースの整備計画に関し、2万総トン級客船の入出港の安全性について、ファストタイム操船シミュレーション手法により船体に作用する風潮流の外力影響を調査し、鳥瞰図操船シミュレータ実験により検証するとともに、対象岸壁の具体的な計画が未定であることから、必要とされる岸壁の防舷材吸収エネルギー等を調査し、2万総トン級客船の着離岸の安全性についても検討した。

係留中の安全性については、類似岸壁をモデルとしてOCIMFの計算手法を用いて、安全に係留可能な条件を仮検討し、岸壁の整備計画が明らかになった時点で本検討結果を参考として再度確認する必要がある旨提言した。

また、外防波堤撤去及び新突堤整備計画に伴う現行の外防波堤灯台の新突堤への移設等の必要性、ジェットfoil用客船ふ頭及び官公庁船舶用船だまり整備計画に対する操船水域等の関連施設の安全性について調査・検討した。

2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 港湾計画変更の概要
- (3) 航行環境
- (4) 港湾計画の変更に伴う検討課題の抽出及び検討方針
- (5) 入出港時の安全性の検討
- (6) 航行安全対策の検討